

カラーケアと“皮膜毛^{*1}”対策を両立する PPT ハイブリッドポリマーを開発

～ カラー後の美しい髪状態の維持に着目した「Protesil® JLH」～

化粧品原料の研究・製造を行う株式会社成和化成（本社：大阪府東大阪市、代表取締役：吉岡正人）は、植物 PPT の毛髪ケア、シリコンの滑らかさ、アルキル基の疎水性を融合したハイブリッドポリマー「Protesil®（プロテシル）JLH」を開発（2026 年 7 月より発売）いたしました。

*1 毛髪表面に過剰に成分が蓄積（ビルドアップ）し、表面状態が悪化した状態。

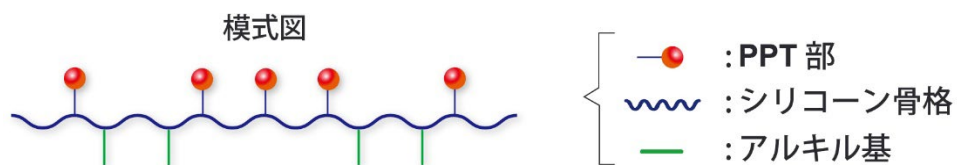


Protesil JLH の開発背景

ヘアカラー市場では、ヘアカラーの発色を良くし、ヘアカラーの褪色を抑制する成分として、毛髪表面のコーティングを行う高分子成分が広く使用されています。一方で、これらの成分が毛髪表面に残留し、過度に蓄積（ビルドアップ）すると、“皮膜毛”という状態になり、仕上がりが重くなる、質感が低下するといった課題が生じます。

そこで当社は、この課題に着目し、PPT（タンパク質加水分解物）、シリコン骨格およびアルキル基からなる独自のカラーケア成分として多機能性ハイブリッドポリマー「Protesil」を展開してきました。さ

らに今回、PPT 部に植物 PPT を採用した「Protesil® JLH」を開発しました。



Protesil JLH 3 つの特長

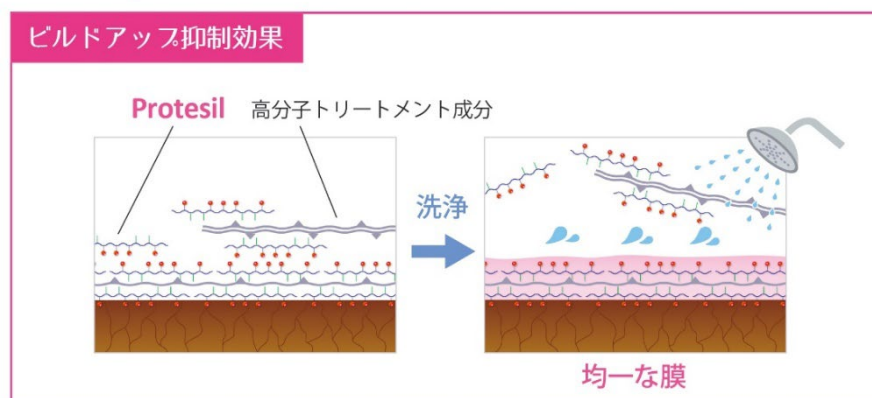
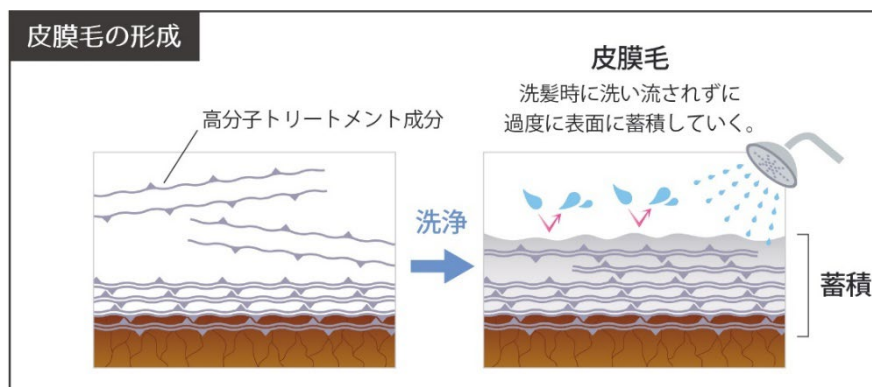
■ 特長 1 ヘアカラーの褪色抑制

毛髪表面を均一にコーティングすることで、ヘアカラーの褪色抑制に寄与します。



■ 特長 2 “皮膜毛”対策（ビルドアップ抑制）

高分子トリートメント成分の過剰な吸着を抑制し、洗髪時に余剰分が洗い流されることで、均一なコーティング膜の形成をサポートします。



■ 特長3 ダメージ補修

構造内に有する PPT が毛髪へ吸着し、カラーや日常ダメージを受けた毛髪を補修します。

- ☑ キューティクルの補修（毛髪表面を整える）
- ☑ 保水力向上（パサつき防止）
- ☑ 感触・外観の向上（指通り・ツヤ UP）

Protesil JLH の使い方・利用シーン

■推奨用途

- ・カラーケアシャンプー
- ・カラーケアトリートメント
- ・ヘアマスク

■このようなニーズに

- ・ヘアカラーの色持ちを向上したい
- ・ビルドアップによる重さやべたつきを抑えたい
- ・軽やかな仕上がりを目指したい

製品概要

製品名：Protesil® JLH

化粧品表示名称：(トリメチルシリル加水分解エンドウタンパク/PG プロピルメチルシランジオール)クロスポリマー、水

成和化成について

成和化成は、化粧品に配合される成分を開発・製造している化粧品原料メーカーです。社員の約半数が研究に携わる業務を行っており、これまで100種類をこえるオリジナルの化粧品成分を生み出しています。

【公式 YouTube チャンネル】

https://www.youtube.com/@SEIWA_KASEI

【オリジナルビタミン C 誘導体 iVC Instagram スキンケア情報発信中】

https://www.instagram.com/ivc_seiwa_official/

【美髪成分 PPT Instagram ヘアケア情報発信中】

https://www.instagram.com/pptbeauty_official/

【会社概要】

会社名：株式会社成和化成

所在地：〒579-8004 大阪府東大阪市布市町 1 丁目 2-14

代表者：代表取締役 吉岡正人

設立：昭和 47 年 12 月 4 日

URL：<https://seiwakasei.jp/>

事業内容：化粧品原料の研究開発・製造

【お客様からのお問い合わせ先】

株式会社成和化成 広報・企画課

TEL：072-987-2626 （8:30～17:15）

URL：<https://seiwakasei.jp/contact>

e-mail：data@seiwakasei.co.jp

※当社は、一般のお客様への直接販売は行っておりません。

※試験データのための無断転載・複製を固く禁じます。